

敬老会特集号

第 7 1 号
平成25年11月8日発行 八幡コミュニティ
責任者 早川義一 TEL 32-0144
印刷 八幡コミュニティ
編集 総合管理部

やわたコミュニティ

祝 び 長 寿
いつまでもお元気で

八幡地区の100歳以上の方々

103歳 増田ぬい様 (中小根)

102歳 相良波子様 (荒古)

100歳 岡本鈴子様 (中小根)

「広報ちた(2013.9)」掲載分

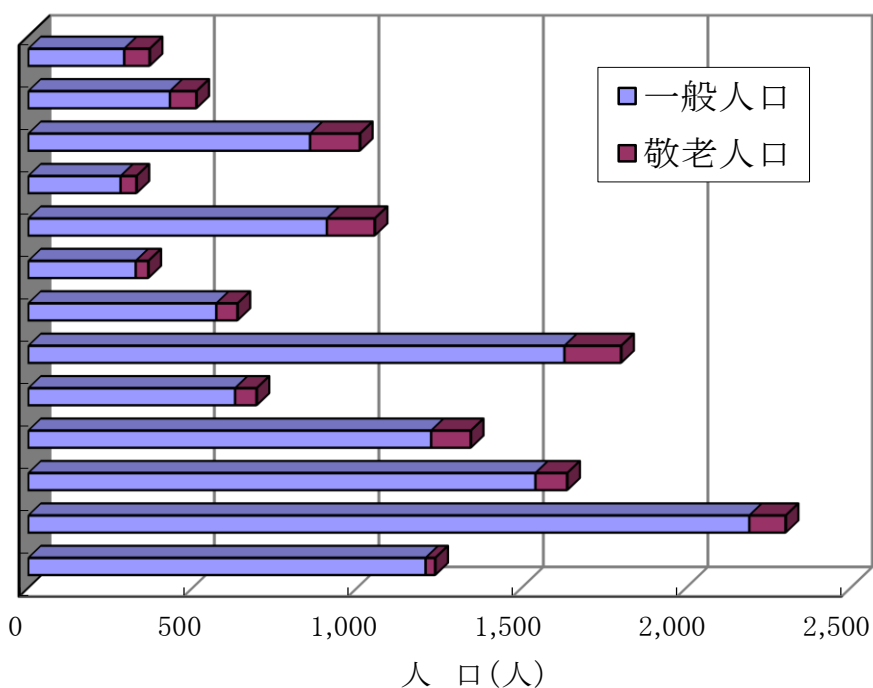
九月十六日は敬老の日でした。九月の週末には、今年も各字、町内会毎に、趣向を凝らした敬老会が、盛大に開催されました。一部の地区では、台風の影響で会の開催が中止されましたが、記念品を配ったり、長寿番付表を配布したりして、高寿者の皆さんの長寿をお祝いする行事が行われました。

(単位 人)

総人口	敬老人口	24年度 敬老比率	25年度 敬老比率	地域名
369	77	20.1%	20.9%	浜小根
511	80	15.8%	15.7%	廻間
1,008	151	16.1%	15.0%	西平井
329	48	14.6%	14.6%	荒井
1,053	145	14.0%	13.8%	中小根
365	38	10.4%	10.4%	堀之内
636	64	9.7%	10.1%	上平井
1,802	172	9.2%	9.5%	荒古
694	65	9.9%	9.4%	中島
1,345	120	8.2%	8.9%	杉山
1,638	96	5.7%	5.9%	寺本台
2,302	110	4.6%	4.8%	八幡新町
1,237	29	2.2%	2.3%	寺本新町
13,289	1,195	8.9%	9.0%	合計

敬老人口:満75歳以上

地域別人口構成



《八幡新町》



9月15日(日)八幡新町集会所にて敬老会を開催しました。34名の方が参加され、マジックショーや踊り、ハーモニカ演奏の余興を楽しんでいただきました。最後は子どもたちから一輪挿しのプレゼントがあり皆さん大変喜んでおられました。

《寺本台》



9月1日に36名が参加され八幡地区最初の敬老会を、寺本台集会所で盛大に開催しました。ハーモニカ演奏の懐かしい曲では、皆さんも歌唱を楽しんでいただき、カラオケ也大盛況でした。いつまでも元気で来年も出席していただけたらと思います。

《寺本新町》



9月8日(日)に敬老会を開催しました。フラダンスの披露、子ども達の歌声の披露、カラオケ大会などで楽しんでいただき、敬老者の皆さんには記念品の贈呈を行いました。

平成25年度 敬老会いろいろ

《中 島》



9月15日(日)に開催しました。台風の影響で雨が降ったり止んだりとしずめの空模様でしたが、多くの方に参加していただき、楽しい敬老会となりました。

《上平井》



全会員64名のうち20名の出席を得て、敬老会が開催されました。来賓の挨拶、演芸の後、食事が始まりました。

《杉 山》



《廻 間》《西平井》は台風の接近による風雨の影響と参加者の安全に配慮し、開催を中止しましたので掲載しておりません。

《中小根》



中小根の敬老会は今年で88回を迎えました。人間の年齢では米寿にあたり大変おめでたいことです。生まれた子どもにありがたいけど長い名前をつけてもらい親が苦労するという、落語でお馴染みの「じゅげむ」をみんなで楽しみました。

《浜小根》



9月8日が雨天となり心配しましたが、無事に、記念撮影に式典が進行し終了しました。カラオケやビンゴゲームでは大盛り上がりで、皆さんの本当に楽しそうな一時を提供できましたことうれしく思い、また役員の皆様の努力に感謝します。

《杉 山》

9月15日台風の影響が心配されましたが、風・雨もなく時折晴れ間も出る中、35名(対象者115名)が出席され「敬老祝賀会」が行われました。ボランティアの皆さんによる「相撲甚句」・「ウクレレ・フラダンス」、杉山こども会の歌の披露、杉山祭囃子保存会による余興があり、あっという間の2時間半でした。

《荒 井》



9月8日(日曜日)10時30分荒井公会堂にて、第79回敬老会を開催しました。式典後はアトラクションの腹話術で笑い声に溢れ賑やかな中 食事会、役員との懇親を深め、有意義な時を過ごすことができました。

《荒 古》



9月8日に知多市青少年会館で開催されました。八幡神社の長寿祈願、来賓者のご挨拶、明愛幼稚園の園児たちのかわいい歌と遊戯、地元荒古の芸達者な方々の余興、また祭囃子の力強い演奏、最後に大抽選会と短い時間ながら皆さんのおかげで楽しんでいただけたと思います。

《堀之内》



台風の影響が心配された9月15日(日)に敬老会を開催しました。敬老対象者44名のうち24名が参加され、最高齢は96歳で新会員は4名でした。式典の後会食、参加者同士の楽しい歓談、ビンゴゲームに一喜一憂し、楽しいひと時をすごしました。

中小根

組長

早川晃彦



現在の八幡本町通り



大正11年頃の船溜めの様子

(八幡本通り)
国道一五五線の常滑街道(俗称「西浦街道」)は、本市域を縦断する主要道路でした。この街道は、八幡地内においては町の中心道路であり、道の両側にお店が立ち並び、小根の本町通りと称せられてきました。現在でも、寺本まんじゅう、かりん堂薬局、野彦醸造場など一〇〇年以上の歴史を誇るお店を始め、多くの商店が軒を連ねています。

(堀切の船溜め)
知多市の海岸は、全体に遠浅であるために良い漁港に恵まれません。そのため大型の打瀬船や長縄船は、川の河口を船溜めとして利用していました。この写真は、大正十一年頃の八幡堀切の船溜めのようすです。なお、手前の石橋は当時の常滑街道です。また、船溜めの南側には当時の娯楽の中心であった芝居小屋である「寺本座」がありました。私も子ども心に記憶があります。

第4回 わがまち再発見

浜小根

組長

大村金敏

平成25年度

(単位:人)

区 分	中小根		浜小根	
	人 数	人口比率	人 数	人口比率
人 口	1,053	—	369	—
世 帯 数	448	—	143	—
敬老人口	145	13.8%	77	20.9%
子ども会	55	5.2%	—	—

も良い「えび」が当時漁獲高一位となり、一時関係漁船は八十隻を越したといわれています。もう一つの柱の海苔養殖は大正十一年頃に始まり、昭和二十四・五年頃には八幡の他地区七組合で海苔共同販売所ができ、



打瀬船

浜小根と云えば、元漁師町と神明社(天照大神・豊受大神)が代名詞です。良質な魚が豊富で漁場が大きく、明治三十六年に八幡漁業組合が設立されました。大正初めの頃には、浜小根に食糧、肥料の間屋「玉屋」ができ、漁師も仲買人も多くなり漁船も増えました。八幡浜魚市場ができると更に増えて、その数は打瀬船、延縄船、釣り船等合わせて一五〇隻にも及び知多郡内で第三位の水揚げがあつたといえます。特に大正二年頃には、品質も味も良い「えび」が当時漁獲高一位となり、一時関係漁船は八十隻を越したといわれています。もう一つの柱の海苔養殖は大正十一年頃に始まり、昭和二十四・五年頃には八幡の他地区七組合で海苔共同販売所ができ、

全国の仲買商人が押し寄せ大盛況であつたと記録されています。また横須賀に水産試験場尾張分場ができ、人工採苗の研究が成功して、より養殖が盛んになり収入も増えました。

さらに歴史を紐解くと、慶長十二年(一六〇七)尾張藩主に任じられた徳川義直は特に魚が大好きで、日々の食膳には知多の浦(加家・横須賀・小根)の魚類が供えられ、その新鮮な味は殊のほか彼を喜ばせたと記録されており、当時から良い漁場であつたことが伺えます。

天災人悟

「Q」避難所での運営について何か取り決めはありますか。
「A」現在、「知多市避難所運営マニュアル」平成十七年度改訂版が整備されており、各避難所防災倉庫にも常備されています。

◆災害時に避難所を利用する人が知っておかねければならない基本原則が述べられており、特に管理責任者(市派遣職員)、施設の管理者(学校長・公民館長など)、避難者の代表の方は十分理解していただいた上で行動する必要があります。

◆避難所運営基本方針
①避難所は地域の人々の安全を確保し、生活を再建するための防災拠点としての機能を持つ。

②避難所は、地域のライフラインが復旧するまで設置し、復旧後は速やかに閉鎖する。
③避難所では、避難者の自力再建を原則とする。

④災害対策本部は、避難所の後方支援する。

「意見等の連絡先」
八幡コミュニティ
防災部会長 平松鋼一

住所 知多市八幡
字堀切七八
電話 三二一九六六〇